

さっぽろ 市議団ニュース

2013年10月18日
No.86

日本共産党市議団事務局発行
電話 211-3221 FAX218-5124

司書教諭の専任化、学校司書の配置拡大を 井上議員が質問 決算委

井上ひさ子議員は10月16日の決算特別委員会(I)で、学校図書館の司書教諭の専任化、学校司書の配置拡大について質問しました。

その中で井上議員は、「学級担任を持ちながら司書教諭を兼務しているのでは、長時間労働を強いられ、その役割を十分に果たせてないため、専任化と授業時間数の軽減についてはどのように検討されているか。また学校司書の配置だが、全国では中学校の40%程度配置されている。本市は中学校1校に配置し調査研究中と聞くが、専門的な知識と経験を有した学校司書の配置で図書館の機能の充実を図るためにも、より多くの学校に配置すべき」と求めました。

引地指導担当部長は「司書教諭については、必置の12学級以下にも配置しているところだが、負担軽減のために資格保有者を増やし、複数配置に努めている。また学校司書は、市内中学校に1校に配置しているが、配置校の取り組みの検証や他都市の調査など調査研究を行っている」という答弁にとどまりました。

高等養護学校（札幌市南部）の開校を確実に 決算委 伊藤議員が要求

伊藤理智子議員は10月16日の決算特別委員会(I)で、一昨年来、道教委と協議中の高等養護学校（札幌市南部）の開校について質問しました。

「札幌市南部での設置が重要な課題だと認識している」とは述べるものの、「結論には至っていない」と消極的答弁を繰り返す金山学校教育部長に対して伊藤議員は「札幌在住の4割の子どもたちが市外の高等養護学校に通うことを余儀なくされている」として、「保護者は金曜の夜に仕事を終えてから2時間かけて学校に子どもを迎えに行き、日曜の夜にまた2時間かけて学校まで送る生活を続けている。学校から子どもがいなくなり、連絡を受けた保護者が何時間もかけて学校まで行き、学校周辺を夜中の間中探しまわるといったこともある」と実情を示し、障がいを持つ子どもたち、その保護者は2017年開校を強く待ち望んでいる。道教委との協議が整わないとって先送りすることがあってはならない！17年開校を明言すべきだ」と改めて迫りましたが、金山学校教育部長は「設置の重要性は認識しているので、早急に結論を出したい」と答弁しましたが、明言は避けました。